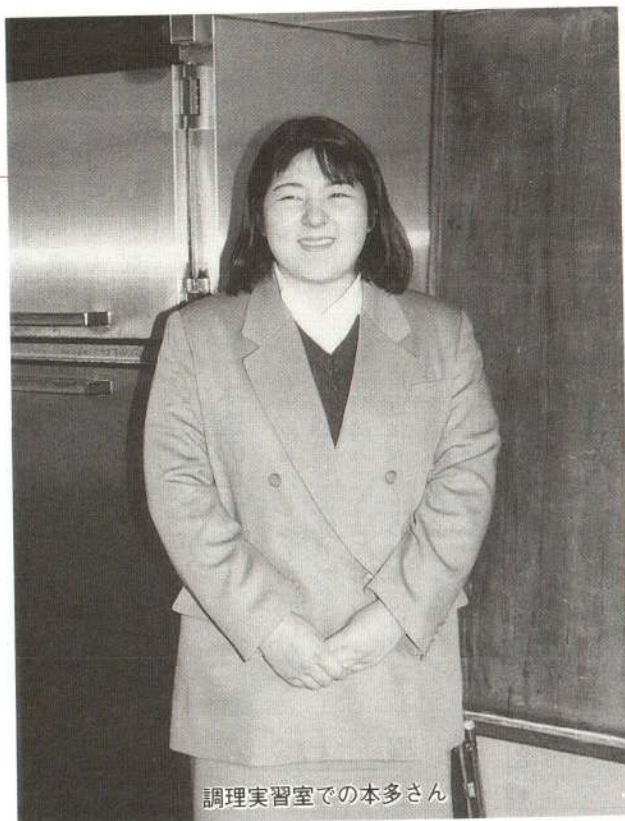




調理実習室での本多さん

最後に「あなたのモットーは？」という問いに対して「友達を大切にすること」と話してくれました。

本多さんは、小学生のころから料理を作ることが大好きで、台所でよくお母さんの手伝いをしていたそう

今回の「キラットさん」は、大館ホテヤ学園大館調理師専門学校で、調理師を目指して勉学に励む本多さん（天下町）です。

キラットさん BEAMBITIOUS

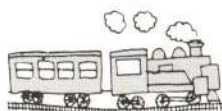
『一流のシェフを目指して』

大館ホテヤ学園
大館調理師専門学校
本多美佳さん

です。今は、グラタンやシチューが得意なメニューで、本多さんの料理に家族は大満足。「おいしい料理でたくさんの人に喜んでもらえたらいいな」と考え、調理師学校へ進学しました。

本多さんは、大鰐町にあるホテルに就職が内定しています。ホテルの厨房に立つ女性はまだ多くないそうですが、本格的に料理の修業ができる并希望に胸を膨らませています。趣味は読書と洋画観賞。スキーが得意で、市民スキー大会のアルペン競技で入賞したこともあります。冬には友達と大鰐や八幡平のスキー場へ出かけ、スキーのスピード感を満喫しています。

先生に本多さんの人柄を尋ねると、「明るい性格で、学校では調理部門のリーダーとなつて活躍しているんですよ。特にお菓子作りが上手で、スポーツもできるし、女の子らしさがある反面快活さも備えた素敵な生徒さんです」という言葉が返ってきました。



杉並区発 → 大館着

前略

大館市民になりました

(44)

☆今回は中神明町の澤田^{すずみ}享さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻の淳美と娘の亜希の三人です。

Q・どちらからおいでになりましたか？

一昨年の四月に東京都杉並区から来ました。

Q・大館の印象はいかがですか？

こちらに來た時まだ雪が残っていたせいか、寒い所だなというのが第一印象でした。戊辰戦争で焼かれたことも原因でしょうけど、かやぶきの民家などがほとんど残っていないですね。私は歴史的建造物に興味がありますので、もっと計画的に保存しておいて欲しかったなと思いました。

Q・食べ物や言葉はどうですか？

ジュンサイを酢の物で食べましたが、なかなかいけますね。東京でも食べたことがありますが、こちらのものは鮮度が良くてうまいと思いました。言葉では「きつと」だろう」という意味で「だびよん」と言うのを聞いて、意味が分からず困ったことがあります。面白い方言がいっぱいあるんですね。

Q・大館にどんなことを望みますか？

人口減少が問題になっているようですが、二つ目の短大設置も計画されていますし、学園都市を目指した都市整備をしてはどうでしょう。若者が集まり活気がある街になると思います。それと、図書館に専門書、学術書が少ないと思います。また、活字離れが進んでいるといわれていますから、ビジュアルなものや音で聴く資料などを考えてもいいんじゃないでしょうか。



享さんと奥さんの淳美さん、長女の亜希ちゃん